

千葉工業同窓会報

平成22年3月1日

第21号

発行 千葉工業同窓会



空から見た千葉工業（平成21年8月）

目次

同窓会に思いを馳せて .. 会長 宮内 潔 2	サッポロビール見学と懇親会 土屋孝夫 14
夢と希望とロマン 校長 天野角男 2	高原千葉村一泊研修旅行 井上誠一 14
同窓会事務局報告 長嶋孝雄 3	クラス会だより 16
同窓会報基金の報告 長谷川敏一 3	40E-3C、悪友の親睦旅行、喜寿記念
総務委員会活動この一年 佐川 一 4	40C-Aクラス会、33C古希記念
環境整備委員会の活動について 山本敏雄 4	千葉工業この1年 18
この一年の活動 高橋正己 5	・創立記念講演会 ・教育功労者表彰
レクリエーション委員会の活動報告 .. 深山 傳 6	・ロボット相撲 ・省エネカー記録更新
安藤信吉先輩を送る 遠藤百三 8	・定時制サッカー部 ・ものづくり旋盤作業
安藤信吉前同窓会長を偲ぶ 小林一臣 9	・他校で活躍するOB先生 ・進路状況
「暑さ忘れて蔭忘れ」ず 福原敏夫 10	東葛支部創立10周年 吉田勝彦 22
惜別（出会いと別れ） 斉木信造 11	支部長就任のご挨拶 吉田 稔 22
「楽苦備会」にラグーマン集う 海保 悟 12	吹奏楽部OB「第3回定期演奏会」案内 23
女子バレーボール、3回戦へ 吉原 茂 12	「同窓祭」開催ご案内 24
ご存知ですか?奈良・平安の遺跡 宇野昭房 13	編集後記 24

千葉工業同窓会事務局報告

事務局長
長嶋 孝雄 (42E)

千葉工業同窓会は、県下にある9地域支部が本部・支部間の連携をとりながら、母校への助成活動や、会員の親睦を深めるため、それぞれ意欲的な活動をしています。

平成21年度の本部事務局の主な活動を報告します。

平成21年 4月 5日 : 第24回同窓祭、第8回竹とんぼ教室
7日 : 安藤信吉前会長葬儀
8日 : 入学式
12日 : 外房支部総会
18日 : 千葉市西支部総会
5月 1日 : 創立記念講演会、常任幹事会
10日 : 京葉支部総会
17日 : 同窓会幹事会
24日 : 市原市支部総会
31日 : 北総支部総会
6月 14日 : 東葛支部総会、東葛支部10周年式典
21日 : 千葉市東支部総会
7月 12日 : 千葉市中支部総会
29日 : 三役会
8月 20日 : 支部長懇談会、三役会
10月 28日 : 三役会、会長選考委員会
31日 : 千工祭
11月11~13日 : 就業体験学習(インターンシップ)
12月 15日 : 同窓祭実行委員会、三役会
平成22年 3月 5日 : 卒業式
14日 : 南総支部総会
18日 : 就業体験学習発表会
28日 : 吹奏楽部OB演奏会

平成21年度同窓会予算
収入の部 (単位:円)

科目	金額
繰越金	2,052,105
入会金	810,000
名簿代金	832,500
助成金	5,000,000
繰入金	520,000
負担金	160,000
寄付金	3,000
雑収入	2,395
合計	9,380,000

支出の部 (単位:円)

科目	金額
名簿作成	1,300,000
文化費	200,000
会議費	350,000
通信費	50,000
教育功労	200,000
行事費	1,800,000
支部助成	1,100,000
事務費	60,000
会報発行	2,500,000
雑費	20,000
渉外費	1,100,000
予備費	700,000
合計	9,380,000

同窓会報基金の報告とご協力依頼

事務局基金担当
長谷川敏一 (39M)

会報発行を円滑に進めるため、会員の皆様に「同窓会報基金」の寄付をお願いしましたところ、今年も多数の方々からご寄付を賜り、誠に有り難うございました。

会報発行資金の一部に充当させていただいております。引き続きご協力をお願いします。

20年度寄付金と21年度繰出金について下記の通りご報告致します。

同窓会報基金特別会計報告

収入の部 (単位:円)

支出の部 (単位:円)

科目	金額	記事
繰越金	14,468	前年度繰越金、利息31
寄付金	541,000	19号(19年度寄付金)
寄付金	49,000	19号(20年度寄付金)
合計	604,468	
繰越金	4,469	前年度繰越金、口座残高
寄付金	437,000	20号(20年度寄付金)
寄付金	23,000	20号(21年度寄付金)
合計	464,469	

科目	金額	記事
繰出金	600,000	(決算) 20年度一般会計へ
繰出金	520,000	(予算) 21年度一般会計へ

- ① 会報19号基金(20.4.1~21.2.19) : 20年度寄付金 33人 49,000円
 ② 会報20号基金(21.2.20~20.3.31) : 20年度寄付金 386人 437,000円
 ③ 会報20号基金(21.4.1~21.9.28) : 21年度寄付金 16人 23,000円

この一年の活動（平成 21 年度）



818 名、3.97%、この数値は現在（20 年度ベース）、同窓生が地域支部活動に参加している人と割合の数値です。

（年会費納入ベース）5 年前には 957 名、4.83%と同窓会

活動への参加者は年々減少傾向にあります。このことは今後も変わりなく減少していくと予想され、同窓会組織を考える上で憂慮すべき事態と捉えなければなりません。

今年度は「千葉工業同窓会会員名簿」の 5 年に 1 度の更新作業の時期に当たり、従来の B5 版から A4 版に装いも新たに、6 月に平成 21 年度版を発行しました。会員総数は 22,274 名（うち物故者 1,657 名）、関東 8 県（東京、千葉、神奈川、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨）では 13,185 名、近県ベースではおおよそ 6%の方々が地域支部活動に参加されている事になりますが、ちょっと寂しく少し物足りなく感ずる参加率です。

そこで、今回は従来型の会員名簿に加え、さらに利便性を高めた地域支部（9 支部）別の名簿を限定制作し各支部に配付しました。支部役員の方々には、会員減少の対応策のツールとして大いに活用していただき、地域支部活動の参加率減少に歯止めをかけるべく効果を発揮して欲しいと思っています。

地域支部における活動は、支部長を中心に支部会員の協力と創意工夫により内容の濃い催し物がたくさんあります。そこで、地域支部別会員名簿の活用について提案します、試みて下さい。様々な催し物の参加呼びかけに際し地域支部別名簿を活用して、支部会員以外にも広く参加を募ってみては如何でしょうか。支部活動の和やかな雰囲気を知っていただくと共に、活動に理解を深めていただき支部活動への参加を勧誘してして下さい。

支部会員増を図ることは、同窓会活動にお

組織委員会

委員長 高橋正己(32C)

ける最も重要な課題であることは、至極当然なことであり、よろしくお願ひします。

また、今年度は同窓会活動の基準となる会則を 7 年振りに見直し、現状との整合を図りました。特に、会長選出に関わるところの会則を新たに明文化し幹事会において、承認をいただきました。会長職には年齢制限（上限 75 歳）を設け、任期も 2 期 6 年としました。また、会長選出に当たっては、立候補制は採用せず選考委員会（会長、副会長、事務局長で構成）において、合議の中で選出し総会において承認を得ることとしました。スムーズな継承を旨とし、わだかまりやしこりを残さぬ寛容な精神集団としての千葉工業同窓会組織でありたいと、組織を担当する者として願うところです。

「広く会議を興し万機公論に決すべし」

明治天皇、五箇条の御誓文より。

各地域支部の代表者名と連絡先

支部名	地 域		
	代表者名	卒年科	電話番号
南 総	君津地域4市・安房郡市		
	根本忠永	31E	0438-63-2101
市原市	市原市全域		
	大野 繁樹	36M	0436-74-5753
千葉市・中	中央区全域		
	岡本保彦	33C	043-232-8903
千葉市・東	若葉区、緑区		
	吉田 稔	33M	043-291-6690
千葉市・西	美浜区、花見川区、稲毛区		
	石井孝司	30E	043-241-2526
北 総	成田・栄、佐倉、四街道、八街、印西、香取		
	早尾 茂	26E	043-422-8825
外 房	東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅、勝浦		
	住田 敏和	31E	0475-73-4558
京 葉	船橋、習志野、鎌ヶ谷、八千代		
	渡辺武雄	30M	047-483-6859
東 葛	市川、浦安、松戸、柏、我孫子、野田、県外		
	吉田勝彦	32E	04-7191-0232

○ 囲碁同好会

囲碁同好会は、高橋健一(29C)会長始め総勢48名で活動しております。大会は年に4回で、学校の夏休み期間には在校生との親善大会を実施しております。今年度も平成21年4月21日、7月28日(親善大会)、10月20日、平成22年1月19日と実施し、通算30回を数えております。平成22年度も、別表の開催予定のように4回の大会を計画しており、通算34回にもなります。これからも、一層の親睦・交流を図りたいと思います。

(囲碁同好会実行委員：石井孝司 30E)



参加者はゆっくりと一步一步大地をしっかりと踏みしめて全員が頂上まで登り、山頂からの素晴らしい景色を満喫し、怪我もなく全員が無事下山し家路に着きました。

平成22年度も2回の行事を予定しております。できるだけソフトで気軽に参加できる行程を考えています。(同好会開催予定を参照)ハイキング同好会へ申し込んで、行事に参加したい人は、こちらまでご連絡ください。

(ハイキング同好会事務局長：関口昌利 30M TEL043-227-1507)



○ ハイキング同好会

ハイキング同好会は、現在100名の会員で年2回活動しております。4月には、名所・旧跡の探訪を、12月には関東周辺の山々のハイキングを実施しております。

春(4月12日)の「本佐倉城址探訪」は、43名の参加者が集まり、京成大佐倉駅からJR南酒々井駅まで。本佐倉城址、千葉氏ゆかりの史蹟を廻る5.5kmのコースを散策しました。ボランティアガイドの説明を受け、双対道祖神の由来を考えながら、春の陽光の下、のんびりと歩く一日、そして飯沼本家での食事とお酒を満喫しました。

冬(12月6日)の「筑波山登山」に25名の参加者が集まりました。筑波山は低いながら日本の百名山に数えられています。早朝、千葉駅前をバスで出発、つくばエクスプレス、つくば駅で東葛支部の皆さんと合流しました。

平成22年度 同好会開催予定

同好会	開催日	会場
ゴルフ	22.10.19	真名CC ゲーリープレイヤーコース
麻雀	22.10.下旬	麻雀大都
囲碁	22.4.20	西千葉囲碁センター
	22.7.27	
	22.10.19	
ハイキング	23.1.18	
	22.4.10	印旛沼
	22.12.4	箱根駒ヶ岳

追悼

安藤信吉前同窓会長を偲ぶ

小林一臣(34M)

安藤さんから「世の中に、頭のいい奴は沢山いるが利口な奴はそう多くはない」との名言を聞いたのは、安藤さんに君津まで足を運んで頂き、沢辺さん、森さん、宮内さんと共に食事をした後、駅まで送る車中でした。

その時は、面白い言い方だなと思った程度で安藤さんにその意味を聞くこともなく、その違いも解らないまま時間が経過していきました。しかしその言葉は常に私の脳裏に存在していたのです。あとあと、世俗を見るにつけ、あるいは私と関わった人を見るにつけ、「これが会長の言ったことか」との思いを持ったことが多く、今日まで至っています。

安藤さんの同窓会長就任は昭和 59 年で、同年に私も事務局長（当時は校内幹事長）に就任し、以来 18 年間安藤会長に仕えました。その間、会長のエネルギーな行動力と豊富なアイデアをつぶさに見て、私は驚嘆と尊敬の念を年々強くしていきました。

昭和 61 年、母校創立 50 周年記念事業期成会会長を兼務され、募金委員長の森章さんと共に 3,300 万円の寄付金を集め当時の段木校長の構想で母校中庭の噴水を中心とした整備を行い、記念式典・祝賀会を盛大に開催。また、これを記念して、同窓祭（当時は同窓会の日）をスタートされました。

以降、母校の 60 周年と 70 周年の記念事業の実行委員長も努められました。60 周年では、宇宙をイメージし、無限の可能性を生徒に期待したモニュメント「無限」を作成し、母校の変遷地である港町・検見川・津田沼の各校舎跡地にそれぞれ記念碑を建立し、各場所で盛大に除幕式を挙行いたしました。70 周年は環境整備ということで多くの植栽をし、高野槇を記念樹として植樹されました。

一方同窓会活動にあっては、平成 2 年、長年の懸案であった「同窓会報」を創刊させ、

平成 11 年には、東葛支部設立をもって県内 9 支部体制を確立、同窓会組織力を強化されました。

安藤さんは財団法人千工会の理事長としても、母校の振興、助成と生徒並びに同窓会のために数多くの事業を展開されました。

生徒達に情操教育の目的と美的関心を持たせるために、銅像「青春の譜」3 体を中庭と玄関前に設置し、複製の絵画を多数購入して、廊下等に飾ってきました。他にも母校の環境整備と美化に大変力を注がれました。校門を入ってから曲がった坂の両脇に咲くとげなしのきれいな薔薇、卒業式や入学式に校内を彩る華麗な花。すべて安藤さんの演出で、学校を訪れる人をして感嘆せしめました。

安藤さんが同窓会長を務めた 23 年の間に、千葉工業同窓会は飛躍的な発展を遂げたことは同窓生周知のことです。

この隆盛を極めた千葉工業同窓会は、安藤さんの実力と、安藤さんが 2 つの顔を持ったが故に成し得たものです。この功績は段木元校長が昭和 61 年に財団法人千工会理事長であった職を同窓会長に禅譲された英断と共に、千葉工業同窓会の歴史に燦然と輝くものです。

私は 10 年前に「千葉工業同窓会は、高校の同窓会としては全国五指に入ると思う」と言いました。5 年前にはそれを「三指に入る」と修正、現在では「日本一」と確信を持って言えます。その根拠は、1 つに年間予算規模 938 万円（平成 21 年度）のこと、2 つに毎年同窓祭を行い、3 つに、その場所に校長・歴代校長と旧職員・現職員・PTA 役員も参加していることです。

安藤さん、貴方は私から言わせれば、自身で言われた利口者（賢者）であり、私の人生の最高の上司で、且つ師でありました。

ご指導を戴いたことに衷心より感謝申し上げます。

※ 「南総だより 97 号」に掲載されたものを、一部加筆していただきました。

惜別（出会いと別れ）

齊木信造(33C)



昭和 32 年夏、千葉と名古屋に住む 2 人が富士五湖の精進湖で出会い、永い交際のうえ 9 年後に結ばれた。長女、長男と生まれて 4 人家族になり、その頃 3 度目の就職、これ

れが 60 歳定年までの仕事になった。好況の時代で、職場は、あまり陽の目を見ない船橋市役所だった。ソロバンの出来ない者が事務吏員となったが、救われたのは、出回り始めた電卓だった。中年での途中入所、とても 4 人の家族を支える俸給とは言えず、両実家からの支援、頼り甲斐の無い夫、必死のやりくりの日々が続いた。

年を重ねると共に落ち着き、良き友を得た。能楽堂で観劇、着物と帯の晴れ姿が、まぶしかった。上等の菓子を頂くと、抹茶とともに楽しんだ。床の間には四季折々の花を絶えることなく活けた。ろくでなしの亭主ゆえ、苦労もあったが平穩無事な暮らしを満喫した。旅好きの夫婦が定年 5 年前には、パスポートを取得して、ニュージーランド、ヨーロッパ、カナダ、エジプトと、海外旅行を楽しんだ。

やがて、足腰の弱った妻には長時間の旅は無理になり、体調の異変と共に、厳しい闘病生活が始まった。平成 19 年 1 月右乳の変異を触診、3 月の手術で転移なしの結果にホッとしたり。ところが、少女時代の予防接種による廻し針が原因と思われる B 型肝炎ウィルスが猛烈に増悪して、3 転目の病院に移送された時には終末期と診断された。それから 3 週間、家族 4 人で濃密な日々を過ごした。亡くなる朝、私を見つめ両手を握り、「お父さんお家に帰るの。お家に帰るの」と呼びかけ、その夜、苦しむことなく静かに旅立った。

出会って 50 年、連れ添って 41 年目のピリオド、多くの皆様に見送られての別れだった。悲しみの涙も嘎れ、激変する暮らし、苦労を

かけた妻に、後悔、詫び、反省、遺された者としての供養、改めて家事の苦労を知った。好きだった歌の「千の風になって」の如く、空から我々を見守ってくれていると信じ、墓へ日参して呼び掛けている。背筋をのぼし凛とした姿で、しっかりと生きた女性だった。自分の女房をほめる馬鹿な夫ですが、誰にでも自慢の妻、68 年の生涯でありました。合掌

高校野球の応援に

高校野球の試合には、父母の会と O B の応援が欠かせません。平成 21 年の夏の大会は、7 月 13 日（月）の青葉の森球場、対流経大柏戦でした。千葉工業の応援スタンドには、いつもの顔がありました。「おっ、元気だったか?」と、ちょっとした同窓会の様子です。野球部 O B のお揃いの白い野球帽が目立ちました。聞けば、新聞で対戦日程を見て集まるとのこと。今年の夏も、応援を。



写真提供：高橋正雄(23E)

「同窓・千工会」地域支部会員、大募集

ご承知のように、我々は卒業したときに「終身会費 3,600 円」を納入して同窓会員となっています。しかし、地域支部に参加しなければ、その良さは実感できません。クラス会や職場千工会と違い、先輩・後輩の関係が深まり、異業種交流の機会にもなるはずです。

まだ入会されていない同窓生を、それぞれの地域支部が待っています。

5 ページの【地域支部の代表者と連絡先】を参考に、是非とも連絡してください。

の連続でした。その荒れたコートで練習し、スライディングで出来た傷が今も体に残り、青春の良き思い出になっているそうです。

そして、それが花開いたのが生実校舎に移ってからの昭和45年夏の大会でした。1回戦から順調に勝ち上がり、なんと3回戦まで勝ち進みました。

現在、中谷先生は千葉県バレーボール協会会長で、千葉工業教員時代には、千葉県教員チームを率いて全国優勝5連覇を成し遂げられました。そんなバレーボールひとすじの先生から、喝を入れられた懐かしいメンバー達が、現役時代そのままに9月12日、中谷先生をかこんで集まりました。女性7名という千葉工業には珍しい数、総勢27名で楽しい酒を飲みました。

中谷先生！ 青春の思い出をありがとうございます



昭和45年 前列左から4人目が中谷先生



平成21年9月12日 千葉「とと幸」

ご存じですか？ 奈良・平安の遺跡！

宇野昭房(34M)



母校津田沼校舎の跡地から、JR津田沼駅をはさんで南側、津田沼駅南口土地区画整理の現場に「谷津貝塚」の遺跡が公開されました。(平成21年9月5日)

「谷津貝塚」と言っても、調査によると縄文時代の遺構ではなく、奈良時代から平安時代の初めにかけての遺跡です。竪穴住居跡・堀立柱建物・溝状遺構が見つかり、土師器(はじき)・須恵器(すえき)・鉄製品などが出土しています。発見当初に、畑で表層を剥ぎ取ると貝が散らばっていたので「谷津貝塚」と名前がつけられたのです。その後の調査で、縄文時代よりずっと後の時代の遺跡だと解りました。出土した土師器は古墳時代からの赤褐色の土器ですが、須恵器は、奈良平安時代に大陸からの技術により作られた灰色・青灰色の素焼きの土器なので、その時代が分かるようです。

地面に1m前後掘り下げて数本の柱を立て萱のような物で屋根を葺いたと想像されます。北側に土で袖の形に煙突状にして外へ出した「かまど」が見つかりました。そこで調理したのではないのでしょうか。

平安時代といえば、都では紫式部が源氏物語を執筆した雅な時代です。その少し前の時代ですが、ここ津田沼では、海を前にして、自然と共存しながらの生活があったと言うことです。母校ゆかりの地、ロマンを感じずにはられません。

ホッと・ニュース

千葉日報 (H21.12.15) に、同窓の青山博一さん(H12EM)の記事が掲載されました。

11月28日の千葉日報と、読売新聞(H21.12.12)「フィチャー2009」欄にも、「撤退相次ぐモータースポーツの中で明るいニュース」として紹介されました。

どちらも大きな扱いで勇姿の写真入りでした。インターネットで、「青山博一」と検索すると、活躍の様子を見ることが出来ます。



青山選手(左)に市民栄誉賞の盾を手渡す佐久間市長
=13日、千葉市内のホテル

市原市出身で、2009年二輪ロードレース世界選手権(WGP)250クラスの年間チャンピオンに輝いた青山博一選手28が、市原市の市民栄誉賞を受賞した。授賞式は、13日に千葉市内で開かれたチャリティイベント「獲得祝賀会」の席上行われ、佐久間隆盛市長から盾や記念品の市原産米が贈られた。

青山選手は同市出身。5歳でボケハイレースを始め、13歳でロードレースに進み、08年全日本GP250クラスチャンピオンとなった。翌年度から世界参戦し、今季は4勝を挙げ、日本では01年の加藤大治郎氏以来の頂点に立った。今季は二輪最高峰のMOTOGPで再び王者を目指す。市原市は世界王者として、または同市の観光大使として国内外へ市原市の名を売った功績を認め、授賞を決めた。同受賞者は、元ボクシングWBC世界スパーライト級王者・川嶋勝雄氏、アテネ五輪野球日本代表・石井弘壽氏、元WBC世界フェザー級王者・栗生隆寛氏に次ぎ4人目。千葉市内で開かれた青山兄弟後援会(岡郷操会長)主催の「凱旋祝賀会」には、関係者や一般公募のファンら約370人が出席した。眞頭、壇上で佐久間市長から栄誉賞の盾と記念品が授けられ、会場からは大きな拍手と歓声が上がった。

佐久間市長は祝福の言葉を掛けた上で、「日本の子どもたちに希望を与えてくれた。今後も若者のシンボルとして頑張ってもらいたい」と激励。祝賀会では記念撮影やサイン会も行われ、青山選手は最後までファンと交流した。

受賞について青山選手は「市民としてとても光栄。来季はもっと厳しいレースになるが、世界のどこかのサニートにいても地元からの応援を胸に、市原市民として頑張りたいと語った。市原市民は「今後、多岐を出入りし活躍します。市民の誇りの熱い応援をもらえるとさらに頑張りがいがある。応援をお願いします」と呼び掛けた。

「応援胸に頑張りたい」

WGP王者 市原市から市民栄誉賞
青山選手

千葉工業同窓会 役員名簿 (常任幹事会、地域支部推薦幹事)

顧問	副会長	事務局	会計監査	環境整備
段木 正視 (20C)	佐川 一 (32C)	長嶋 孝雄 (42E)	宇野 昭房 (34M)	山本 敏雄 (27C)
天野 角男 校長	高橋 正己 (32C)	松浦 悟 (53E)	高石 進 (35M)	古川 仁司 (25E)
	深山 傳 (38E)		齋藤 公彦 (37C)	
会長	長谷川敏一(39M)	事務局相談役		
宮内 潔 (32C)		小林 一臣 (34M)		

常任幹事		地域支部推薦幹事	
根本 忠永 (31E)	齋藤 篤 (44M)	南 総	千葉市中
大野 繁樹 (36M)	増渕 守 (48M)	高橋 正敏 (36M)	篠崎庄一郎 (25E)
岡本 保彦 (33C)	島貫 輝 (61E)	佐久間 昭 (36M)	鍋木 勇 (28M)
石井 孝司 (30E)	島貫 良平 (H61E)	白井 正男 (40M)	関口 昌利 (30M)
吉田 稔 (33M)	大塚 昌男 (46E)	春日 信行 (41C)	市原 正征 (34M)
早尾 茂 (26E)	山下 昇 (47E)	鳥飼 光雄 (42M)	子安 秀次 (38M)
住田 敏和 (31E)	秋葉 朋幸 (59E)	吉原 茂 (46C)	千葉市東
渡辺 武雄 (30M)	秋田 広記	久野 博巳 (46C)	斉木 信造 (33C)
吉田 勝彦 (32E)	(H12EM)	江沢 栄 (50E)	野村 隆男 (35E)
貫洞 哲男 (28M)		比連崎正幸 (60M)	市原 平 (37M)
高橋 健一 (29C)		溝口 孝博	千葉市西
吉田 國男 (29E)		(H3EM)	海保 保 (29E)
石橋 暁 (40C)		市原市	依知川政彦 (31E)
滝口 貞一 (40E)		山田 俊雄 (28E)	湯浅 秀男 (34M)
萩原 光正 (42E)		花沢 義雄 (31E)	桜井 輝亜 (34E)
		川島 智 (36E)	小野美喜雄 (38E)
		酒井 宏 (36E)	小池 忠良 (38E)
		小倉 弘 (38E)	布施 敏雄 (41E)
			北 総
			大野 清伍 (28E)
			梅澤 秀男 (36M)
			黒川 武夫 (36E)
			金子 衛 (38M)
			外 房
			吉清 貴 (34C)
			永島東洋輝 (31E)
			松本 信行 (34M)
			深山 潔 (36E)
			京 葉
			飯島 貞行 (32M)
			若月 忠良 (37M)
			川村 義郎 (40M)
			高橋 博 (49C)
			東 葛
			中村 軍治 (32M)
			木間 英一 (33C)
			坂巻 実 (34M)
			土屋 孝夫 (34M)

○母校での創立記念日に講演したお二人、TV受信機の研究で活躍したSa君、若者を育成する大学教授(博士)のO君
○地域発展に尽くし叙勲に輝いたSi君等々。

今年5月14日には、「喜寿記念クラス会」を予定しています。母校の津田沼跡地に集合して、当時の思い出に浸り、会食後にJR・バスを乗り継いで「サンライズ九十九里」を目指します。写真のようにミニクラス会をかさね、只今準備中。みなさん元気に参加されるのを楽しみにしています。



40C-Aクラス会

村上喜良(40C)

久々の同窓会(参加者19名)

定刻の前に、全員集合・・・

学生時代には無かった快挙?・・・

顔を見合って、しばし絶句する者

誰・・・と、たずねる者

それぞれのリアクション!

早速、乾杯

経過説明、飲みながらの進行、

それぞれのスピーチ

激動の昭和を生き抜いたツワモノ・・・

堂々としている・・・

でも、シャベリは、昔と、変わらない

すぐに、誰と、わかる

元気な様でも、還暦を迎えた初老

大なり 小なり

病気を経験しているようだ

かく言う 私も・・・人工透析歴8年・・・

同窓生とは、いいものだ

話題が尽きない

アツという間に・・・終宴時間

それぞれの思いを込めて、解散

元気で会えて、良かった

次に会うのは、2年後の2月



33C 古希記念一泊クラス会

西谷光国(33C)

養老溪谷近くで、還暦記念のクラス会を行ってから10年。気力も体力も、急激に落ちるといわれる70代に突入した仲間が、10月25日に古希を記念して、九十九里白子温泉に、集まりました。参加29名と、3年前のクラス会よりも多く、幹事はホッとしました。

卒業以来の初参加の2名、また、遠路はるばる青森、大阪から参加の仲間は大歓迎を受けました。再会を懐かしく思う会話が飛び交い、お互いの近況報告が行われました。プランクを感じさせない歓談が続き、ひと時があっという間でした。翌日は雨模様で、ゴルフ組と観光組に分かれて行動しました。

多分3年後には、またクラス会が開催されます。今回、いろいろの理由で参加出来なかった仲間が、気楽に参加出来るような企画を心がけたいと思います。



定時制サッカー部全国大会出場

平成21年8月8日、静岡県 清水ナショナルトレーニングセンターで開催された「定時制・通信制全国大会」に出場した。対戦相手は、兵庫県伊丹市立高等学校 定時制、強豪相手との戦いで、残念ながら0対2で1回戦負けに終わった。仕事・勉強・部活動共に励んだ中での全国大会進出。



全国大会に出場した選手たち

ものづくり関東大会出場 旋盤作業

平成21年6月15日、「高校生ものづくりコンテスト 千葉県大会(旋盤作業部門)」が、千葉県立清水高校において開催され、谷口透君が優勝、2位に柳本健志君、3位には小網達弥君と上位独占し、3人が関東大会に進出。競技内容は、課題作品を制限時間内に製作、寸法精度や仕上がり程度などを競う旋盤作業。

平成21年9月13日、同 関東大会が「ポリテクセンター千葉」で開催され、柳本君が3位・谷口君が4位・小網君が5位に入賞した。



関東大会に出場した選手たち

電気工事コンテスト関東大会に出場

平成21年9月20日、山梨県中小企業人材開発センターを会場に、「第8回関東甲信越地区電気教育研究会 電気工事コンテスト」に千葉県代表として、電気科3年 三幣 祐太君が出場し5位に入賞した。(電気科 鈴木 弘)



作業板に向かう・賞状を手にした三幣君

総合技術コンクール化学分析で優勝

平成21年11月28日、市川工業高校で「第26回総合技術コンクール」が開催された。化学分析部門で工業化学科2年 竹下飛鳥君が優勝し知事賞を受賞した。他の部門でも9名が上位入賞した。(情報技術科 森本 圭一)



分析をする竹下君

千工祭 テーマ Let's enjoy !魂(soul)

10月31日、新型インフルエンザの影響で、保護者のみの公開で実施した。

母校ホームページ

<http://www.chiba-c.ed.jp/chiba-th/>

平成21年度進路状況

就職内定者数103人(求人615社)

工業化学科 住友大阪セメント・東京ガス・旭硝子・JFEテクノリサーチ2人・チッソ石油化学・長尾製缶所・日立化成工業2人・カマタ・三徳工業・キャボットジャパン・モリタテクノス・ミズレック・日鐵テクノリサーチ・協和発酵ケミカル・富士フイルムRIファーマ・京葉ブランキング・明正工業・吉野石膏・JFEスチール・広栄化学工業・大日本除虫菊・ジャパンフーズ・旭ダイヤモンド工業・イトーキ・日本リファイン **電子機械科** 宇部興産2人・新日本製鐵・日本AEパワーシステムズ・アラキ総産・東京都市サービス・三菱化学メディエンス・オチアイ・JFEメカニカル・東京ガス・ラインワークス・シャープドキュメントシステム・フジコーポレーション・日野自動車・日立産機システム・双葉電子工業・瑞徳医科工業・東京電力2人・京葉臨海鉄道・エヌ・ティ・ティ・エム・イー・日立プラントテクノロジー土浦・新興プランテック・生活協同組合ちばコープ・コスモペトロサービス・アエロエンジニアリング・瀧本計器商会・三井造船千葉機工エンジニアリング・山九重機工・日本ケーブル・千葉製粉・JFE鋼管・東洋電業・古河電気工業・日本コムシス・日立ディスプレイズ・サンコーエアーセルテック・東関東メルテック・東京酸素窒素・京成電設工業・全日警・トーヨーカネツ・モリタ環境テック・アクアテック **電気科** ビスキヤス2人・デンカポリマー・東電工業・東京電設サービス・関電工・近和電業・山口電気機械工務所・太陽日酸・東京地下鉄2人・電洋社2人・カイデン・フジクラ・日清製粉・三井造船・成田空港給油施設・鈴木金属工業・王子コーンスターチ・関東電気保安協会・東日本運輸・栄電社・日本ビルメンテナンス **情報技術科** テルト首都圏・京葉臨海鉄道・東京ガス・出光興産・東京アート・菱電エレベータ・東進電気 **公務員2人** 東京都職員・刑務官

大学・短大35人 専門学校41人

千葉大学・千葉工業大学16人・日本大学6人・東京電機大学2人・城西国際大学2人・東京情報大学・千葉職能開発短期大学校7人

日本工学院9人・日本電子5人・千葉県自動車大学校4人・日本自動車大学校3人・国際航空2人・東京バイオテクノロジー2人・市原高等技術2人・東京医療秘書福祉・アミューズメントメディア総合学院・臨床福祉・国際トラベル&ホテル・ESPミュージカルアカデミー・千葉調理師・パリ総合美容・ワタナベエンターテイメントカレッジ・竹早教員保育士養成所・ホンダテクニカルカレッジ・大原学園・千葉デザイナー・東京テクノロジーコミュニケーション
(進路指導部 清水 敏明)

修学旅行は九州へ

平成21年10月6～9日、長崎・福岡方面へ2年生が、3泊4日の修学旅行に行った。主な見学先は 長崎平和公園・市内で「くんち」見学、雲仙岳災害記念館・伊万里 有田焼伝統産業会館で絵付け体験などをした。飛行機での修学旅行。



長崎平和公園



長崎くんち

恒例「スーパー竹とんぼ教室」案内

主催 千葉竹とんぼ倶楽部
(千葉工業同窓会)

日時 平成22年4月4日(日)9時～11時

場所 県立千葉工業高校 食堂

参加費は無料です

(材料、道具は倶楽部で準備)

今年も、いつものように同窓祭の前に「スーパー竹とんぼ教室」をおこないます。ご家族を含め大勢の皆様のご参加をお待ちしております。今回も会場は、食堂あるいはプールの周辺を予定しています。

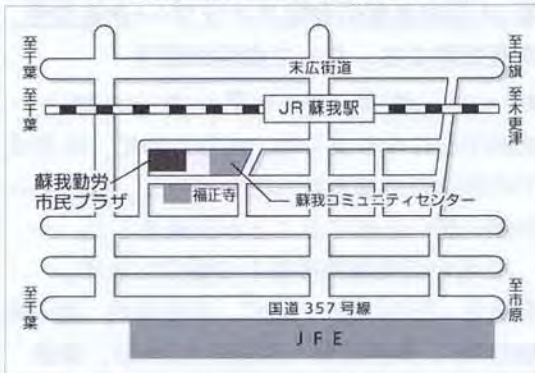


千葉工業高校吹奏楽部OB 「第3回定期演奏会」案内

日時 平成22年3月28日(日)

13:30 開場 14:00 開演

場所 千葉市蘇我勤労市民プラザ
4F 多目的ホール (定員 390名)



入場 無料 ※ 駐車場が少ない為、公共交通機関をご利用ください。

演奏曲目(予定)

千工マーチ(荒川一郎先生作曲)

勝利の父

あの日聴いたうた

音楽祭のプレリュード

吹奏楽のための序曲(メンデルスゾーン)

二つの交響的断章(リハル) ほか

現役生徒との合同演奏会です。大きなホールなので、同窓の皆さん是非ご来場ください。

同窓会総会の開催

3年に1回開催する「総会」を開催します。幹事(各クラスから選出、各地域支部から推薦)はもちろん、すべての同窓会員がご参集ください。

日時: 平成22年5月16日(日)
14:00 ~ 16:00

会場: 千葉工業高等学校 会議室
(本館2階)

議事: 会務報告・会務計画・役員改選
他

各地域支部定期総会開催予定

支部名	地域	
	開催月日	開催場所
南 総	君津地域4市、安房郡市	
	3月14日(日)	木更津市民会館
外 房	東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅	
	4月11日(日)	東金・八鶴亭
千葉市西	美浜区、花見川区、稲毛区	
	4月24日(土)	プラザ菜の花
京 葉	船橋、習志野、鎌ヶ谷、八千代	
	5月9日(日)	玉川旅館
市原市	市原市全域	
	5月22日(土)	サンプラザ市原
東 葛	市川、浦安、松戸、柏、我孫子、県外	
	6月6日(日)	我孫子・鈴木屋本館
北 総	成田、佐倉、四街道、八街、印西、香取	
	6月13日(日)	香取・大藤
千葉市東	若葉区、緑区	
	6月20日(日)	プラザ菜の花
千葉市中	中央区全域	
	7月11日(日)	プラザ菜の花

同窓会に思いを馳せて

千葉工業同窓会長 宮内 潔(32C)



会長に選任された平成 19 年から 3 年間に県下 9 地域支部の内 5 支部で新しい支部長が誕生しました。母校創立 73 年を迎え卒業生の年齢差が 70 才以上です。当然のことですが年代によって価値観が違います。終戦の年に誕生した卒業生も 65 才になります。この数年は世間も激動でした。同窓会の運営も将来を見据えた対応が不可欠になります。体力・気力が有る 60 才代の卒業生を運営の中心とした体制です。70 才以上の卒業生は豊かな経験を生かして、後輩の為にバックアップをする。そこに年長者への敬いの心が芽生え、反面 60 才代のリーダーは何時までも自分の立場に恋々とする事なく次世代の人材育成に真摯に励むことで先輩後輩の良好な人間関係が構築される。問題は「言うは易く行うは難し」です。人間は様々で長になるまでは悟ったようなことを言っていたのに手の平を返す。これが人間の性なのでしょう。継続は力なりと言われますが、私は宝なりと言い換えて強調致しますが将来を見据えた運営を一時たりとも忘れてはならない。その基本の最たるものは一にも二にも人材育成に尽きると確信しております。現況に於いては人材育成の環境は地域支部が一番最適に思う。地域支部の皆様大変難儀なことと十二分に理解したうえで是非とも心掛けて頂きたいとお願い申し上げます。又、地域支部へ未加入の皆様方の中には能力の有る方がごまんと居ることは百も承知しております。地域支部の会員でない場合は皆様方の能力を見出す機会が殆ど出来ないに等しい。誠に無念でなりません。未加入の皆様方は加入しても催し等に参加出来ないからと気を使つてのことではないでしょうか。その点は一切有りません。地域支部への加入を心待ちにしております。

夢と希望とロマン

千葉工業高等学校 校長 天野角男



平成 21 年 4 月に着任しました“あまのすみお”です。あつという間の 10 か月でした。その間に、同窓会の各支部総会に招待され、この組織の偉大さを目の当たりにしました。と同時に、母校への献身的な想いと多大な御支援を賜りましたことを、校長として、同窓生に心より厚く感謝申し上げます。

本校勤務は、初めてなので自己紹介を少しさせていただきます。私の誕生は、母の実家である旧千葉駅前、現在の東千葉駅前東京よりです。夜中じゅう、貨車の入れ替えのジョイント音を聞き、昼間は千葉公園の猿山や池をいたずらして歩き回り育ちました。8 人兄弟の 6 番目の長男、まあ、大奥の殿様生活でした。祖父も父も技術者で、当然何の疑問もなく技術者の道へ入り、土木建築の長大橋梁が専門です。

私の教育理念は「技術者よ！夢と希望とロマンを語れ！」です。どんなものづくり作業でも、始める前には、必ずできあがりを予測し、それに向かって作業を進めます。それがエンジニアです。「夢や希望やロマン」を語るにも、必ず先を見る力、予知能力・予測能力があつて初めて語れるのです。夢と希望とロマンを語ることがエンジニアの基本中の基本だと信じています。出来るか否かは、二の次です。この能力がきめ細かく、高度であればあるほど、精密度は高くなる。この能力、即ち、この感性(かんせい)を身に付けられるのは、思春期が最適なのである。

資源のない小さな島国日本が豊かである方策はいろいろあるが、工業技術をあげない人はいない。がんばれ日本！がんばれ千葉県！がんばれ千葉工業！ありがとう同窓会！たった一度の我が人生、たった 2 年の千葉工業高校勤務、されど死んでも忘れえぬ千葉工業。

総務委員会活動この一年

総務委員会
委員長 佐川 一(320)



会長と共に本年も各支部の総会及び懇親会に出席しました。お酒を酌み交わしながら多くの方々と会話を交わして参りました。時には旧友と数年ぶりに会い、懐かしさのあまり何杯も盃を交わすこともありました。学生時代の話をも熱く語り合う姿を見聞きし、同窓会の素晴らしさを実感し更に充実させなければと、強く感じております。

各支部総会の席では「各種の行事あるいは地区別の懇談会などを開催し、力を入れていますが、入会者が少なく現状維持がやっと」と聞くにつけ、支部役員の皆様のご苦労に頭が下がる思いです。

支部長との意見交換においても、活性化を図るために検討してきました。役員に登用し

たい若手の入会者が少ない、行事を計画しても参加者が少ない、支部の活動資金不足などの意見がありました。景気の悪化、先行き不透明な中ですが、今後も魅力ある同窓会を目指して努力しましょう。

インターンシップについては、これまでの7年に及ぶ努力が実り学校と企業との連携がうまくいっています。生徒は充実した研修を受け、勤労の厳しさを学んでおります。今年度も同窓会には要請がありませんでしたので、後援は控えております。

環境整備委員会の皆様には、泥まみれの作業をご苦勞様です。今後ともご協力お願い申し上げます。

同窓会報の読者の皆様、是非とも地域支部に加入して、同窓会活動の更なる発展にご協力ください。



環境整備委員会の活動について

環境整備委員会
委員長 山本敏雄(270)



1. 昨年の活動内容について

母校創立70周年記念行事の一環として、正門と玄関及びモニュメントの前に恒久性のあるプランターが設置されましたので、校内の美化運動の基礎は完備されました。

従来は、校舎周辺の除草作業に動力式の草刈機を使用していました。しかし、危険が伴うので学校側と同窓会幹部で検討した結果、草刈機の使用は専門家にまかせました。

活動の内容は、四季折々の花の苗をプランターと中庭に植栽することのみになりました。昨年の春期はマリーゴールド、秋季はサルビア、冬季はパンジー等各々約500株を植栽することが出来ました。作業は在校生とPTAの皆さん方にも参加して戴きました。

2. 今後の活動について

年間の植栽計画は年度初めに立案検討し実施して参ります。多くの同窓生と学校関係者（PTA等）の皆さんのご支援・ご協力を戴きながら校内の環境美化運動を推進致します。

我々同窓生は、多感な青春時代であった3年、4年あるいは6年間（中・高一貫教育を受けたS.27年卒迄）、母校に帰属して人生の礎を築いた事実を、忘れることは出来ません。永久に消滅しないことを自覚しています。

今、我々同窓生がしなければならない事は、後輩の在校生が心を癒し快適で有意義な学生生活を送れるような環境づくりです。環境整備委員会に課せられた責務であります。

同窓生の皆さん、軽作業でありますので、ご都合のつけられる方は是非ご参加して下さい。用具は同窓会で準備しております。

レクリエーション委員会の活動報告

レクリエーション委員会
委員長 深山 傳 (38E)



平成 21 年度もゴルフ、麻雀、囲碁、ハイキングと四つの同好会が活動し、各実行委員の皆さんのご支援とご協力によって多数の参加を得て盛大に活動することが出来ました。

厚くお礼申し上げます。各同好会の活動内容をご報告いたします。

○ ゴルフ同好会

第 11 回のコンペは、前回に引き続き「真名カントリークラブゲリープレイヤーコース」において平成 21 年 10 月 13 日(火)に開催されました。当日は快晴でかつ無風のゴルフ日和の中、参加者総勢 49 名(13 組)と非常に多数の参加を得て、和気あいあいとゴルフプレイを堪能出来ました。

個人戦では、優勝立石征男さん(32C 千葉市西支部)、準優勝斉藤弘さん(36M 市原市支部)、3 位山田俊雄さん(28E 市原市支部)でありました。また、団体戦では地元支部の外房支部が優勝し、準優勝は市原市支部、3 位は千葉市西支部でありました。

今回は事務局の不手際から開催日を三連休後に設定したため、折角楽しみにしているゴルフ大会へ体力面から参加出来ないのが日程を配慮するよう要望が多数寄せられました。この場をお借りして、お詫びを申し上げますと共に、次回には皆様の参加しやすいようにしますので沢山の参加をお願いします。

後日、ゴルフに参加された皆様のチャリティー募金 2 万円を「社会福祉法人千葉市社会福祉協議会」へ平成 21 年 10 月 28 日に寄付して参りました。

次回の開催場所については、皆さんにご好評でありました「真名カントリークラブ」で平成 22 年 10 月 19 日(火)に開催する予定(仮予約済)です。

(ゴルフ同好会事務局長：早野三千男 36E)



○ 麻雀同好会

第 14 回麻雀大会は、恒例の JR 千葉駅前「麻雀大都」において、平成 21 年 10 月 24 日(土)に 28 名(7 卓)という多数の参加者を得て、日頃の腕前を競い合うと共に親睦を深めることが出来ました。

また、大会終了後の懇親会には 15 名の参加者が集い盛会でありました。麻雀は、最近になって老壮男女の「ボケ防止対策」の一環として賑わいを呈しているようですので、経験のある方は参加し、元気に生きようではありませんか。

個人戦の優勝は海保悟さん(34E 北総支部)、準優勝吉原茂さん(46C 南総支部)、3 位海保保さん(29E 千葉市西支部)でした。団体戦の優勝は千葉市中支部、準優勝北総支部、3 位千葉市西支部でした。

(麻雀同好会事務局長：木間英一 33C)



追悼

安藤信吉先輩を送る

遠藤百三(23C)

前同窓会長・安藤信吉さんが平成 21 年 4 月 1 日午前 7 時 17 分に船橋市立医療センターで胃ガンの為に死去されました。

私が安藤さんと初めて遭遇したのは、昭和 18 年 4 月の検見川校舎の講堂兼武道場でした。その存在感の記憶は強烈な印象として残っている。それは、講堂に集まった全員にかけた号令の声の大きさでした。ともかく、広い講堂に響き渡るその声量にただ驚くのみでありました。これが私への容赦のない特訓の始まりであったとは、この時の私には夢にも思っていなかった。

2 学期を過ぎた頃であろうか、安藤先輩から呼び出しがかかった。検見川校舎の校庭は広く、本物のグライダーを飛ばすことが出来た。校庭は土手で四方が囲まれていて、北側の土手は特に高く外の公道よりも 10 メートル位あって、落ちれば大けがをすするであろうと思われた。土手の上は狭くて、一人立てばやっとの幅しかなかった。土手の上で安藤さんに負けずに大声を出して、号令を発する練習をした。普段使用するもので、「かしらみぎ」「右へならえ」とか「けいれい」などです。この号令調整は 1 日 2 時間そして毎日である。しまいには日常的に使う言葉の代わりに号令言葉が出てしまい、突然の大声に周囲の人たちの目を見張らせたりしていた。

安藤さんは昭和 18 年に第二本科 3 回生として卒業後、本科の機械科に編入して昭和 20 年 3 月に機械科 2 回生として卒業した。母校を卒業後、軍人になるべく軍関係の学校に進み、終戦までわずかであったが、軍人見習いとしての生活を送り、異常な体験をしたことでありましょう。敗戦後は早稲田大学理工科を卒業して、教員の生活に入ったが平凡な生活では飽き足らなくなったのであろうか、市原から船橋に生活の場を移し、教育の場から

政治の世界に足場を移したのです。

船橋市は、安藤さんには未知の場所でしたが、奥さんの生まれ故郷であり、その実家の堀江家は船橋の名家であり、看板には不足はなかった。

船橋市議会議員には容易に当選したが、県議員の方はなかなかの苦戦の連続であり、当選、落選を繰り返し、県議は二期を過ぎた後に引退した。安藤さんは、政治家の理想を貫いたようです。地元の仕事や利益を持ち込むことはなかった。それ故に選挙には強くなかった。しかし、大事業である成田空港に取り組み、日本の貿易を応援する幕張メッセの建築に力を注いだ。今日の千葉県に大きな貢献をして、後の勲四等という勲章の授与につながったものと思われます。

昭和 59 年から 23 年の長い期間に千葉工業業同窓会の会長として、活躍されたことは皆さんのご承知の通りです。安藤さんは、同窓会長を辞任したら、待っていたように病を呼び込み脳内出血をおこしました。しかし、早期治療が成功して、かなり早く回復し、谷津にあるリハビリ病院で体力の回復に努めていました。私が面会した時など、ビールを飲みたいなど冗談を言うほどでした。その後、船橋の北部にある老人ホーム「レビー船橋」に入ってから、お見舞いに行っても、あまり元気もなく、以前の面影がありませんでした。

同窓会に費やしたエネルギーが、安藤さんの余力を奪い取ってしまったのでしょうか、悲しい別れを迎える事になりました。

安藤さんが心血を注いでくれた千葉工業同窓会、そして財団法人「千工会」を育て、守って行くのが、残された吾々後輩としての努めであると思います。



寄稿 「暑さ忘れて蔭忘れ」ず

— 森勇一先生を偲び — 福原敏夫(35E)

「明かりを消せ、障子を閉めろ」。春まだ浅い京都の宿。修学旅行最後の夜だった。

突然、A組担任の森勇一先生が仁王立ちで悲痛な声を上げた。眠いののに何が起きたのか。少し前から部屋の内外はザワついていた。旅先での開放感から数人の不良(願望)連中が、新京極でハイボールでも引っかけて来たらしい。それを見回りに来た先生を見つけ、咄嗟の判断で冒頭の言葉を発したようだ。先生は「この事は絶対に口外するな」と釘をさした。箒口令が功を奏し、新学期は何事もなく始まり、生徒・先生への咎めは無かった。しかし、17歳の少年達の先生への不信感が残った。

母校OBで優等生ゆえに

森先生が平成21年2月にお亡くなりになった。享年81。先生は船橋の有名な海苔問屋の「長男として生まれたが、べか船の櫓が漕げず、祖父から進学しろと言われ」(先生談)千葉工業へ入学した。学校では「段木正視元校長や故安藤信吉前同窓会長らと共に優等生だった」(先輩談)ので米沢工専に進む。だが1年で「ホームシックにかかり」中退。今度は家に少し近い多賀工専(現茨城大・工学部)に入り卒業。母校の教諭になられた。

先生の専門は電気理論で、授業は熱心、黒板の字も見事だ。冗談も言わず、脱線もしなかったが、ある時「好きな歌手は音楽大出の三浦洗一」と言われた。真面目で堅いのがお好きだ。ご自分が優秀だったので、いい加減な事が嫌いだった。生徒に対する好悪の感情が目立ち、成績至上主義で、同じ悪戯をしても成績の悪い者は怒られた。生徒の自覚めいた点や反抗的などころには厳しく対した。

早逝されたB組担任の藤本明弘先生が「情」の人なら、森先生は「知」の人と言える。

「きちんとやる事をやった」

珍しく先生が小説の話をした。石川達三の「人間の壁」が新聞に連載されていた時だ。

主人公の女教師の悩みに触れた後、反対運動が起きていた教職員の「勤務評定」を肯定。

「私はやってもいいと思う。自分がきちんとやる事をやっていけばいいのだから」と言い放った。これには驚いたが、後年、先生が県教育庁へ転出されたのを聞き成程と思った。

先生の一番の目標は、生徒がなるべく希望するところへ就職(進学)することだった。「先輩達の方が優秀」と先生に言われた我々だが、時代にも恵まれ、暑い夏の就職戦線を乗り切る事ができた。先生のお蔭である。

その後の先生は、鎌ヶ谷高校など3校の校長を勤め定年を迎えられた。65歳のクリスマスに「合唱が趣味の家内」とオーストリア旅行を計画。ところが出発直前に奥様のご病気が見つかり中止に。翌年の秋、がんで亡くなられたという。先生のお悲しみ、如何ばかりであられたかと思う。

知への好奇心失わず

歳月は人を優しくする。10年程前から「森先生を囲む会」を開催してきた。一泊旅行の時には20数人も参加した。我々は再び先生の警咳(けいがい)に接することが出来た。

晩年はお人柄も圭角がとれ、笑顔も時折見せられた。いつも物事への関心を失わず、受け答えも的確だった。談笑後お帰りになる先生の表情は、柔和で少し寂しそうだった。

人はいつか何処かで来し方を振り返る。その時、父母や先生、そして故郷や母校への感謝の気持を抱く。

師恩忘(ほう)じず。昔の悪ガキ連中が一周忌に集まって、先生に献盃した。



修学旅行で 藤本(左) 森(右)の両先生

「楽苦備会」に、ラグーマン集う

海保 悟(34E)

平成 21 年 6 月 2 日、JR 船橋駅近くの船橋グランドホテルに、33 名のラグビー部 OB が集合し、「楽苦備会」(らくび会)を開催いたしました。

前年 6 月に「ラグビー部 3 学年合同 OB 会」ということで、昭和 32~34 年卒の 28 名が、学年・学科の枠を超え、「ラグビーで共に戦った」仲間として約 50 年ぶりに集まりました。その際に、毎年の開催及び参加枠の拡大、会の名称を「楽苦備会」と決めてから、今回は第 2 回目の開催です。

昭和 31 年、当時ラグビーを指導しておられた村越林太郎先生(故人)が「千葉県から全国大会へ」の悲願のもとに 3 年計画を立て、阿部忠夫先生(故人)とのペアで熱血指導を始めました。来る日も来る日も練習また練習、グランドは石ころだらけ、野球部とサッカー部が混在しながら練習するという信じられない環境の中、3 学年が一丸となって目標に挑みました。

3 年計画の 1 年目が吉田勝彦主将率いる 32 年卒、2 年目が中野久夫主将率いる 33 年卒、共に県内では無敵を誇るもあと一步で全国大会に届きませんでした。そして、3 年目、先輩の夢を引継いだ木内進主将率いる 34 年卒が南関東大会で甲府工を破り、念願の全国大会に、千葉県から初出場を果たしました。このような背景があって、この 3 学年は固く結ばれているわけです。(なお、千葉工は昭和 34 年の初出場以後、37・38・39 年に連続出場して以降、残念ながら全国大会に出ておりません。楽苦備会は心より応援していますので頑張ってください)

さて、今回は新たに 36 年卒 4 名、38 年卒 3 名の仲間が加わり、遠くは大阪、豊橋そして関東各地より集まりました。先ず、村越、阿部、梅山薫の 3 先生、同じく故人となってしまう仲間に黙祷を捧げて開会となりました。

新しく加わった人の近況報告、そして自由歓談では、あっちでもこっちでも話しの輪が出来、大いに盛り上がりました。38 年卒の名選手・中村勇三郎さんの話しに勇気づけられ、新加入の後輩たちの話しにも興味が尽きませんでした。体調のすぐれない方も参加され、熱く思い出を語る姿は特に印象的でした。

フィナーレは全員で津田沼校歌斉唱、飲み足りない仲間は、何組かで二次会を開いたようです。楽苦備会は毎年の 6 月の第 2 水曜日に開催しようと申し合わせました。詳しくは下記にお問い合わせください。

吉田勝彦(32E) 04-7191-0232

荻原 功(32M) 043-423-9922

中野久夫(33E) 0467-83-5953

木内 進(34E) 0532-47-3949

海保 悟(34E) 043-485-8579

三木 慧(36C) 0436-62-3596

中村勇三郎(38M) 043-462-1341



女子バレーボール、3 回戦へ!

吉原 茂(46C)

母校に女子バレーボールチームがあった事をご存じでしょうか?

津田沼校舎時代の昭和 41 年、43C の旧姓・鎌田文子さん、時田礼子さん達が中心となり、女子バレー部の発足とバレーコートを作ることを、男子バレー部監督の中谷勝先生に熱く希望したのが始まりでした。

その当時のバレーボールは室内ではなく屋外が主流でした。竹やぶを切り開きコート作りから始めました。それは大変な苦勞

サッポロビール見学と懇親会

土屋孝夫(34M)

平成21年8月22日10時、主催の千葉市3支部の他に京葉支部から2名、東葛支部からの9名を加え総勢47名が、津田沼駅南口のビール園バス乗り場に集合した。迎いのバスに乗り一路、船橋市高瀬町のサッポロビール千葉工場へ向かった。このイベントは毎年行われているようで、私は昨年につき2回目の参加です。

東葛の吉田勝彦(32E)支部長が常に言って、実践している「自分の支部の人たちとの懇親はもとより、他支部の同窓生との親睦を深めることは良いことだ。機会があれば積極的に参加しよう」に、大賛成だ。支部は違っても同じ同窓の仲間、正にその通りだと思い、東葛支部の自分も気軽に参加することにしている。

この工場では首都圏で消費されるサッポロビールの3~4割の生産量で、主力製品のエビスビールと黒ラベルビールを出荷しているとの事であった。工場内の見学通路の要所でビデオ等を見ながら説明を聞くことが出来た。

その後、お目当ての無料試飲の場所に移動する。試飲とは言いながら、中には20分間で7杯のグラスを空にするとか、我々も乾いた喉を潤すためにエビスビールを頂く。案内女性の美味しいビールの飲み方の説明があった。「まず、背筋を真っ直ぐに伸ばし、グラスの下を持ち、グーッと飲み込む」という。飲む速度は自分のペースでと言いながら、見事な飲みっぷりを見せてくれた。思わず、歓声があがり、あちこちからのアンコールに応じて3回も一気飲みをした迫力にはびっくりした。「今後飲むビールはサッポロビールだけ」と、この場限りの変な誓いを求められ、盛り上がった。

試飲の後、工場内にある千葉ビール園に場所を移して懇親会が行われた。東葛支部の顧問でもある永峯清秀元校長の乾杯発声で、ジンギスカン料理でビール三昧の開始となった。機械科卒の我が身は、機械に潤滑油が必要と同じく、人生にも潤滑油が欠かせないと納得する。やはりアルコールは、同窓の仲間とわいわいがやがやで飲むことが一番と堪能した。



高原千葉村一泊研修とりんご狩り

井上誠一(33E)

11月1~2日、東葛支部から2名の参加を加え総勢19名で、恒例の千葉市3支部の一泊研修旅行に行きまして。

目的地は、群馬県水上の千葉市の施設、高原千葉村です。富岡製糸工場を見学し、時間調整しながら夕食懇親会へ、かくし芸やカラオケで盛り上がりました。翌日は天気も回復し、谷川岳・天神平まで足を伸ばして標高1900mの絶景を満喫し、帰途りんご狩りを楽しみました。バスの中での「おにぎり定食」のつつましが思い出に残りました。多くの差し入れ、記念の写真に、御礼を申し上げます。



40E-3Cクラス会

滝口 貞一(40E)

11月14日(土) 船橋市の老舗割烹旅館「玉川」に、アラ還の紳士18名が集まりました。

会場に入って最初は誰・誰・誰の状態でしたが、次第に在校時代の顔と声が思い出され、あちらこちらで「おまえか!」「〇〇か!」の聲が聞こえてきました。なにせ45年ぶりの再会の人もいて、皆で高校時代を思い出し感激の波が広がりました。

今回のクラス会は、幹事として石沢さん・平井さん・小島さん・石井さんの各氏が、連絡、日時設定、会場手配等努力して頂きました。又、ネットや電話でクラス会開催を支援して頂いた畑中さんに感謝・感謝です。

会場では、デジカメで撮ってその場でプリントした写真や、卒業時の写真を見ながら学生時代の話で盛り上がり、カラオケ・校歌斉唱と盛況のうちに終了。なごり惜しみながら次回の再会を約し「玉川」を後にしました。



悪友の親睦旅行

関口 誠(41M)

「キサンビー」・・・懐かしい言葉に、先輩諸氏はウォーと思わずに違いない!!

知る人ぞ知る、千葉工高機械科3年B組のことである。その「機3B」、昭和41年卒業の悪友8名が、なんと42年ぶりに再会し旧交を温めました。

在学中から仲が良く、よく学び、よく遊び、よく叱られた連中達が「還暦を機会に旅行で

もいこう」ということになり、平成21年7月11日、各自拠点の中間地域となる外房・九十九里にて集合し、昔話に花を咲かせ、仲間の近況を報告しあいました。悪友達は学生時代と同じ話し方、しぐさを交えて、大いに盛り上がり、酒もうまく、歌もうまく、笑いあり、涙ありの楽しい時間でした。

歳はとっても気持だけは若い8人衆、思い出深い1泊2日の還暦旅行でした。

・・・誰からともなく、「来年また逢おうや」の声・・・友って、いいもんですね。



「喜寿記念クラス会」開催予定

金子 健(28E)

私達、28電3Bは「記念クラス会」と近隣級友による「ミニクラス会」を実施、合間にクラス情報誌「28電3Bだより」を発刊しています。古希記念クラス会は、平成16年5月「ウェルサンピア君津」で14名が出席、大変盛り上がりしました。

その後、ミニクラス会も4回開かれ「28電3Bだより」は諸兄の協力を得て第1号(H17)第2号(H20)を発刊、クラスの絆を強く保つことが出来ました。第3号は、喜寿記念クラス会の特報誌となりそうです。

さて、28電3Bの仲間は、なかなか個性的で文字通り「多士済々」意気軒昂です。○「日本百名山」制覇を目指し海外マラソンにも挑戦し続けるI君

千葉工業この一年

創立記念講演会

平成21年5月1日、母校電気科 昭和36年卒 宮井 隆 様を講師に迎え、「ゆっくり歩けば 遠くへ行ける 土の器とシルクロード」という演題で、シルクロードを旅しての体験談を講演していただいた。

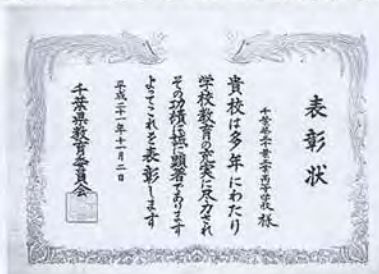
(電気科 島貫 輝 61E)



体育館で行われた創立記念講演

母校が教育功労者表彰団体の部受賞

平成21年11月2日、母校が「平成21年度教育功労者表彰 学校教育の部 団体部門」を受賞した。受賞理由 平成19年度から3年間 文部科学省・経済産業省連携事業「地域産業の担い手育成プロジェクト」の指定を受け実施。長期企業実習、出前授業、平成20年度「高校生ものづくりコンテスト旋盤作業部門」関東大会100点満点(大会初)で1位、「全日本ロボット相撲全国大会高校生の部(自立型)」で経済産業大臣賞受賞(最優秀技術賞)など、高い教育実践と本県の教育に寄与した功績。



全国大会準優勝 ロボット相撲

関東大会(幕張メッセ)・東北大会(青森県八戸市)・東海大会(愛知県名古屋市)で開催された地区予選を勝ち抜いたロボットが全国大会に進出、上位入賞をした。高校生の部は、平成21年11月14日、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で開催、自立型で結城 耕平 君が準優勝、ラジコン型で渡邊 貴信 君・土屋 涼 君が共にベスト16。全日本の部は、平成21年12月20日、東京両国国技館で開催、自立型で結城 耕平 君がベスト8・深沢 工 君は1回戦で敗退。



横浜で開催された高校生全国大会に出場した選手 詳細は、主催者ホームページで。

<http://www.fsi.co.jp/sumo/>

省エネカー-母校の記録更新 1224Km/L

平成21年10月10・11日、茨城県 ツインリンクもてぎ で開催されたHONDAエコノパワー全国大会に自動車部が出場。記録は1224Km/L

で18位だったが、母校の最高記録となった。



ベトナムから研修生を受入れ

平成21年9～10月にかけて、「工業教育におけるベトナムとの相互交流事業(JICA草の根技術協力事業)」でベトナムから教員2名が来日し県内各地で研修、母校電気科には8日間来校し、実習教材の製作を主に研修、直流安定化電源・ワンチップコンピュータ・ライントレースカー他を製作した。また、生徒との交流も行い、ベトナム語講座・ベトナムの紹介や部活動へ参加もした。昨年、ハノイ工科短期大学と姉妹校協定を調印。



研修生・校長・生徒会役員たちと校長室で

2年生200名がインターンシップに

平成21年11月11～13日の3日間、2年生200名がインターンシップ(短期企業実習)に参加した。近隣企業83社。今回の経験が、将来従事する職業を選択する参考となった。また、働くことの意義を考える絶好の機会となったようだ。職員も、企業の見学をした。このほか、10～20日にわたって行う「ものづくり工業高校人材育成企業長期研修」もおこなった。(工業化学科 伊豆丸 千鶴雄)

クリスマスコンサートin SOGO

平成21年12月19日、千葉商業高校と千葉工業高校の吹奏楽部が合同で、そごう千葉店 センシティーガーデンにおいて、「クリスマスコンサート」を行った。

金銀の回収実験 企業技術者授業

平成21年10月27日、工業化学科 有機合成実習室で、田中貴金属工業株式会社 湘南工場 故品回収セクション チーフマネージャー 奥田晃彦氏(工学博士)・製造技術セクション 西浦正紘氏を迎え、「貴金属のリサイクルと化学的操作」というテーマで実践的な授業をおこなった。内容は、貴金属リサイクルの講義と、金・銀を含む水溶液から金・銀を回収する実験。よく考えられ準備された実験と、手際のよい進行で、金が見えたときには生徒は感動していた。

(工業化学科 伊豆丸 千鶴雄)



工業化学科 有機合成実習室での講義

他校で活躍するOB先生

母校を卒業後、県内の工業高校で活躍する同窓生を紹介します。今回は、千葉県立市川工業高校に勤務する6人です。

青木不二夫40M、藤井孝42M、中村啓介60E、丹治 修 H3EM、石井俊正H3EM 子安 豊 H8IE



後列左から石井・丹治・子安 前列左から中村・青木・藤井

東葛支部創立10周年を迎え

東葛支部長 吉田勝彦(32E)



同窓会々員の皆様には、ご健勝にて毎日を有意義にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、ご存知の通り我々東葛支部は、昨年6月、創立10周年を迎え、歴代校長先生、同窓会本部並びに各支部役員各位にご出席を賜り記念式典を開催。同窓会初の試みとして、地元我孫子で活躍中の落語家を招き、笑顔・笑顔の式典となりました。

これも偏に東葛支部会員各位のご理解とご尽力による団結力の賜物と感謝申し上げます。そして忘れてならないのは、支部9兄弟の末っ子として誕生した我々に歴代校長先生はじめ母校の方々、(財)千工会の皆様、同窓会本部並びに各支部の皆様「幼い東葛を、何とか一人前に・・・」と暖かさとしげさをもってご指導ご協力賜りましたお陰だと、この紙面を借りて御礼申し上げます。

私も支部長を拝命して2年。今後15周年、20周年に向けて楽しく有意義な活動を継続して行きたいと願い、気持ちを新たに「入会して良かった同窓会」を目標に再スタートをしたいと思います。

変わらぬご指導、ご支援を賜ります様、心からお願い申し上げます。と共に、同窓会々員皆々様の益々のご発展を、お祈り申し上げ、創立10周年のご報告とさせていただきます。

なお、記念式典で、創立以来8年間に亘り支部長として、県外在住の同窓生に声をかけ、会員増(現在県外会員18名)に寄与された事をはじめ、会員相互の親睦を常に考え、我々をリードされた立崎作次氏(26C・現顧問)に感謝状を贈呈しました。

また、創立10周年を記念して、千葉工業高校の校章入りの東葛支部旗を購入し、ご披露致しました。

支部長就任のご挨拶

千葉市東支部長 吉田 稔(33M)



平成21年6月21日の支部総会で「千葉市東支部長」を拝命いたしました。当支部は千葉市若葉区と緑区に在住・在勤する卒業生を主な対象として構成し、活動を続けてお

ります。支部創立以来16年を経過し、4代目の支部長としての重責を感じております。就任の抱負ですが、基本的に本部活動の路線に沿いながら、具体的には「千葉市3支部」の仲間として共同歩調をとりながらも、独自色を生かした活動を目指したいと考えています。

当支部の現状をみますと、会員数は三桁に及びません。また会員の年齢構成では、高齢化が進み、一言で言えば「少数の比較的高齢会員が、支部活動の魅力を感じて楽しんでいる」と言えます。残念ながら地域の卒業生への浸透不足は否めません。そこで今後は以下の3点に絞って活動をしたいと考えます。

①会員数の1割増を目指す。②昭和30年代後半以降卒業の会員増をはかり若返りを目指す。③支部活動を理解してもらうため広報活動の充実を目指す。

具体的には月並みながら「未だ入会していない同窓生に、会報などで支部活動を紹介しながら入会を勧める」ことです。最も大切なことは活動の永続性であり、その為には会員が楽しめる活動にすることが重要であります。

当支部の主なレク活動(他支部と共催)を紹介させていただきます。春：竹の子狩りとバーベキュー・グラウンドゴルフと懇親会、夏：ビール工場見学と懇親会・プロ野球ナイター観戦、秋：グラウンドゴルフと懇親会・日帰り又は一泊バス旅行 その他麻雀大会やゴルフコンペも実施しております。

先輩・後輩と年齢を超えた幅広い交流により豊かな人生経験を得ることが出来ます。興味のある方はぜひご連絡ください。

第25回「同窓祭」開催のご案内

「4月の第1日曜日は、母校へ集合」が、合い言葉になりました。今回が25回目の同窓祭です。桜の花咲く母校への坂道を登ってください。

いつもの「スーパー竹とんぼ教室」も開催します。懐かしい恩師の先生方も大勢お見えになります。クラスメートはもとより、仲間を誘い合っでの参加を期待します。

参加は、同封の払込用紙の「出席」に○をつけて、会費及び同窓会報基金を3月15日までに送金願います。また、その近くにならないと都合がつかない場合は、当日会場で受付致します。その後の同窓会報基金の払込は、いつでも何口でも歓迎致します。

日時 4月4日(日) 11:30~14:30

会場 千葉工業高等学校 食堂

会費 1,000円(払込用紙にて)

- ・ 卒業5年以内の同窓生と、ご家族のうち18才未満の方は無料です。
- ・ 喜寿のお祝いを予定しています。生年月日の記入をお忘れなくお願いします。

編集後記

「例年高い就職率を誇ってきた千葉工業高校も苦戦している」と、新聞報道(朝日新聞H21.11.10)された就職難の時代です。新卒業生の進路に、大きな波風のないことを祈るばかりです。もちろん、同窓の皆さんも、少なからず影響を受けていることと思います。お互いに助け合い、一緒に苦勞してこの荒波を乗り切りましょう。

会報21号は、安藤信吉前同窓会長への追悼

題字 安藤 信吉(20M)

千葉工業同窓会報

第21号

- ・ JR蘇我駅より徒歩20分、小湊バスは、蘇我駅の東口、末広街道に出て京葉銀行前から乗るのが便利です。



千葉工業同窓会 第24回同窓祭



第24回同窓祭の会場スナップ...永峯先生、吹奏楽部OB、そして会場の様子

文が中心になりました。あらためて、18号までの巻頭の言葉を読み返してみて、同窓会への熱い想いを感じる事が出来ました。

12名の広報編集委員をご紹介します。
委員長:長谷川敏一(39M)、副委員長:渡辺武雄(30M)、事務局長:大塚昌男(46E)、委員:関口昌利(30M)、井上誠一(33E)、宇野昭房(34M)、大野繁樹(36M)、松崎文男(37M)、滝口貞一(40E)、橋本勇(42E)、大橋政孝(54E)、溝口孝博(H3EM)

発行日 平成22年3月1日

発行者 千葉工業同窓会 会長 宮内 潔

事務局 〒260-0815

千葉市中央区今井町1478

千葉県立千葉工業高等学校

TEL 043-264-6251 FAX 043-268-5524